

SD 日本ユース・プラットフォーム会合 2018

<奈良サテライト会場> 開催報告書

英語教育専修 学部4回生 谷垣徹

1. 開催趣旨

日本国内におけるユースのESD活動の更なる活性化とネットワークの強化、および「第4回ESD日本ユース・コンファレンス」のフォローアップとして、「ESD日本ユース・プラットフォーム会合2018」を開催する。コンファレンス参加者や周囲の仲間が参加し、ESD日本ユースの輪を広げ、お互いに学び合い、ESDの更なる発展を目指す。奈良サテライト会場では、適宜、東京会場とインターネット中継で双方向に繋ぎながら、各地域でESD活動を行うメンバーが互いに会い・学び合うプログラムを行う。

2. 日 時 2018年2月17日(土) 10:00~13:00 ※東京会場は10:00~18:00

3. 会 場 奈良教育大学 講義棟 104教室及び202教室

4. 参加者 奈良教育大学ユネスコクラブ 部員
学部4回生 谷垣徹、田中晴日
学部1回生 下原舞、種瀬史歩、仲村幸奈
奈良教育大学附属小学校 教諭 河野晋也
奈良市立平城小学校 教諭 新宮済



奈良サテライト会場の開催案内

5. 内 容

- (1) 本会合の趣旨説明
- (2) チェックイン(自己紹介・ストーリーテリング)
- (3) 第4回コンファレンス参加者からの報告発表
- (4) 奈良サテライト会場からの発表

① International Symposium on School Violence and Bullying (in Seoul, Korea)

奈良教育大学学生企画「第3回ESD実践勉強会(五井平和財団の協力開催)」の報告
(奈良教育大学 英語教育専修4回生 谷垣徹)

② ESDユース教員の実践発表(江東区立八名川小学校ESDパワーアップ交流会等)の報告

(奈良市立平城小学校 教諭 新宮済)

③ 近畿ESDコンソーシアム&日本ESD学会についての紹介

(奈良教育大学附属小学校 教諭 河野晋也)

(5) 奈良での今後のESD活動のビジョンの話し合い【奈良サテライト会場のみ】

6. 成果と課題

<成果>

- ESD日本ユース・コンファレンスとして初めてのサテライト中継を実現することができた。
- 奈良でのESD活動の取り組みを全国に発信することができた。
- 奈良教育大学ユネスコクラブの学生と現職教員が繋がるきっかけとなった。
- サテライト中継後のダイアログで、奈良での今後のESD活動のビジョンを参加者によって共有することができた。

<課題>

- サテライト中継の技術面の問題で、東京会場の雰囲気伝わりにくかった。
⇒サテライト中継の技術の獲得、会場・物品準備の徹底が必要である。

- 学生、教員共に参加者が少なかった。

⇒ユネスコクラブの学生を中心に ESD に関心のある学生への呼びかけ、また大学全体として学生への ESD の普及に取り組まなければならない。

7. 奈良での今後の ESD 活動のビジョンについて

東京会場とのサテライト中継を終えて、奈良での今後の ESD 活動のビジョンについて、参加学生でダイアログを行った。以下にダイアログの論点をまとめる。

- 議題「ESD をもっと広めるために私たち・奈良からできること」

<自分たちにできる Action Plan>

- (1) 奈良教育大学学生に向けた学びの報告会を開催する。
 - ・Twitter や LINE などの SNS を活用して、身近な人から参加呼びかけをする。
- (2) ユースネットワークの幅を広げ、高校生とつながる活動を展開する。
 - ・ユネスコ協会青年部とのさらなる連携を深める。
 - ・ユネスコスクールや SGH 校での出前授業を行う。
- (3) 自分たちが積極的に ESD を楽しく学ぶ勉強会を実施する。
 - ・過去の活動で作成した ESD、SDGs、ユネスコなどに関する資料を有効活用する。

8. 参加者の感想

- 電話で繋がるプラットフォーム会合を終えてから、自分たちでこれからできることについて話し合った時間がとても有意義な時間でした。ESD を広めるために私たちができることに重きを置いて考えました。「奈教生向けの学びの報告会をする!」「高校生と繋がる!」といった、現実的かつ魅力溢れる目標が出てきてよかったです。この話し合いをしているとき、やりたいことがたくさん出てきて、とても楽しくてわくわくしました。なので「言うだけ」「提案するだけ」



サテライト会場からの発表の様子

- ではなく、実現できるよう積極的に行動したいです。今の活動をより良くしていくための話し合いができたこと、とても貴重で素晴らしい時間を過ごせたなと感じています。
- 今回このプラットフォーム会合に参加してみて、今まであまりユネスコクラブの活動に参加出来ていなかったのも、知らない言葉 (GAP など) の意味や成り立ちを知れたことで、もっと知りたいと強く思いました。また、ESD について学ぶたびに奥深いと思いつつも曖昧になっていってしまうので、もっともっと自分の中で ESD を深めたいです。ユネスコクラブとしても、自分としてはもっと ESD の核心に迫る話をしたいと思っています。平和であれば平和だけを取り出すのではなく、それと ESD の関係、また、ESD の全体像など、具体的かつ、抽象的に ESD を見ることでさらに学びが深まるのではないかと思います。終わってからの話し合いで、さらにユネスコクラブがより良くなる場所を見つけれられたので、実現できることを精一杯頑張りたいです。